

## 天蚕の計画的飼育

農業研究センター 農産園芸研究所 養蚕部

### 研究のねらい

国民生活の向上に伴い、消費者の本物指向と天然繊維への回帰から、繊維のダイヤと言われる天蚕糸に対する評価が高まってきた。従来、この繊維の生産は自然に出来た繭を採取して糸とする程度で、計画的な飼育はほとんど行われていなかった。

そこで、中山間地における未利用資源の活用及び現地からの要望に応え、中山間地域の振興を図るため、実用的な飼育技術を明らかにすることを目的とする。

### 研究の成果

1. 天蚕を計画的に飼育するためには、天蚕卵を1月下旬～2月上旬にクライト200倍で洗浄乾燥後5℃に冷蔵保護し、孵化目的期日8日前に15℃に、更に5日前に出庫して25℃で保護すると孵化が揃う。
2. 樹木での放飼は、催青卵の山付け(卵50粒程度を竹の筒に入れ樹木に吊す)と1～3齢を天蚕用人工飼料で飼育して、4齢2日目に樹木へ放つ方法がある。
3. 放飼樹木は、蜂、蜘蛛、カマキリ、鳥等の外敵を防ぐための網被覆が絶対に必要である。網被覆の方法は葡萄棚式かパイプハウス式とし、網目は6×3mmが好ましい。また、蟻の被害防止には樹幹の根元に蚕這出防止テープを巻き付けるとよい。
4. 飼料樹種は天蚕の生育、繭質共にクヌギが最も勝り好ましい。ヤマモモへの卵の山付けは適しない。
5. 前年に採集した天蚕卵を5℃に冷蔵することで、同一樹木での5月と7月の2回飼育が可能である。しかし、2回蚕は1回蚕に比べて孵化歩合、繭質等がやや劣る。

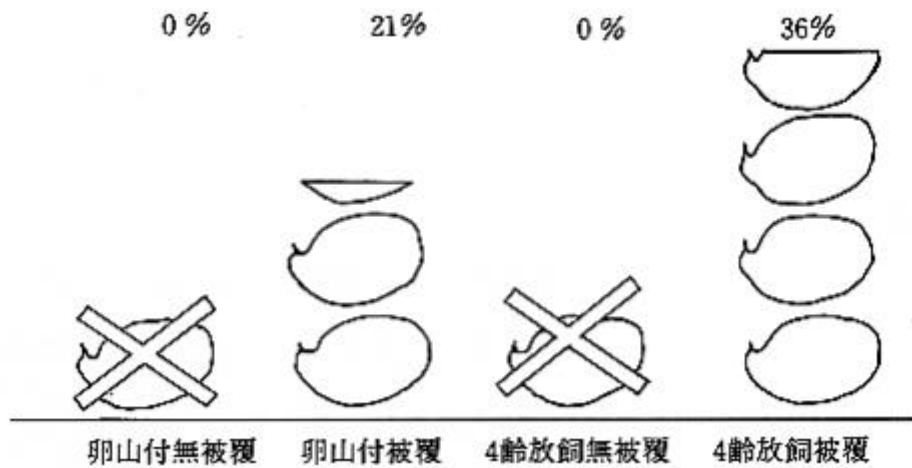


図1 飼育方法と結繭歩合

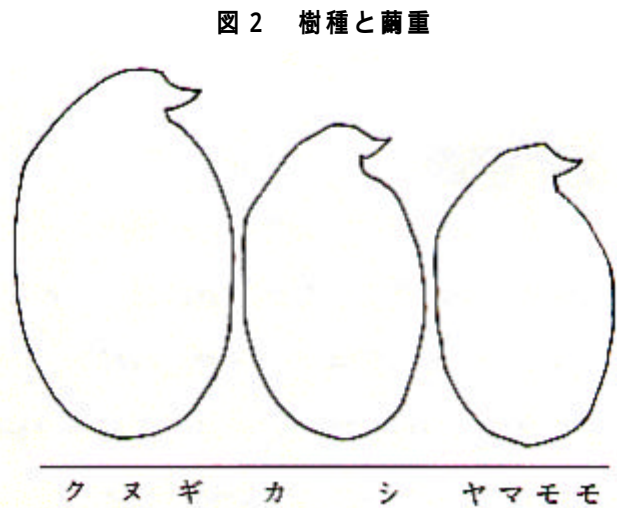
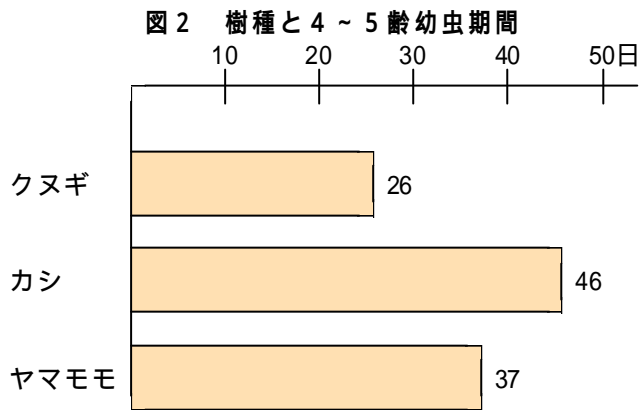


表1 年2回飼育成績

(山付被覆)

蚕期	山付月日	孵化歩合	結繭率	繭重	繭層重	繭層歩合
1回蚕	5月8日	76%	43%	9.80g	89.7cg	9.3%
2回蚕	7月22日	65	25	6.21	63.7	10.3